

報道関係各位

国土交通省 千葉国道事務所「道路見える化計画」



「柏地区道路見える化計画」工事着手

今年度の取り組み内容についてお知らせします。

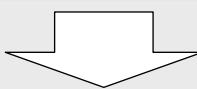
～ 8月下旬よりバスベイ整備など順次工事着手します ～

記者発表資料

千葉国道事務所では柏地区において渋滞緩和、交通事故対策を集中的に実施する「柏地区道路見える化計画」を平成18年10月から進めており、昨年度は2箇所のバスベイ設置が完成しました。

今年は8月から「バスベイ整備」を始め、「歩道のバリアフリー化」、千葉県内でも渋滞の名所である「呼塚交差点」の工事を順次着手します。

さらに、今年度より『レッドゾーン戦略』に基づく交通事故対策として「国道6号柏駅西口交差点」の対策にも着手します。



「柏地区道路見える化計画」の進捗状況

○国道16号及び6号の柏地区において、工事の準備が整ったことから下記の整備を実施します。

◆8月下旬(8/20)着手予定

→バスベイ整備[葉山(外回り)・弥生町(内・外回り)]

◆9月上旬着手予定

→レッドゾーン戦略[柏駅西口交差点]

→歩道のバリアフリー化[旭町交差点～柏駅西口交差点]

◆11月上旬着手予定

→交差点改良[呼塚交差点]:左折レーンを設置

◆電線の地中化の一部工事については着手しています。

→「若柴」、「柏弥生町」着手済、「新十余二」、「南柏」着手予定

○また、皆様に事業の目的を、わかりやすく、見えるように、現地に事業説明看板を設置しました。

工事中はご迷惑をおかけしますが、事業のご理解ご協力のほどよろしくお願いします。

平成19年 8月 17日(金)

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ

横浜海事記者クラブ

神奈川建設記者会

千葉県政記者クラブ

柏記者クラブ

問い合わせ先

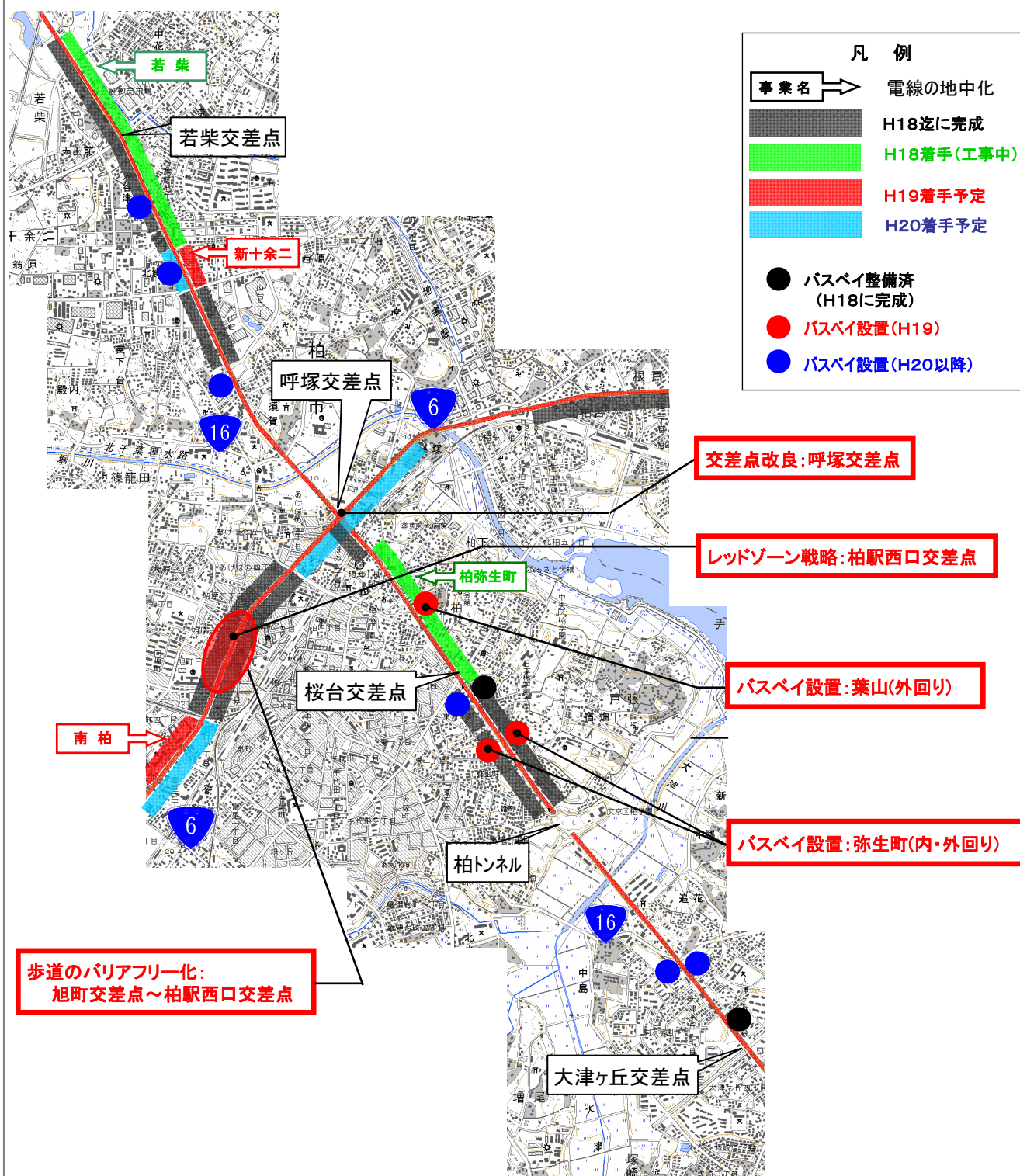
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

計画課長 武藤 聡 電話043-287-0314

柏維持修繕出張所長 湯澤 聡 電話04-7143-4230

柏地区道路見える化計画

■国道16号・6号「柏地区見える化計画」実施箇所図



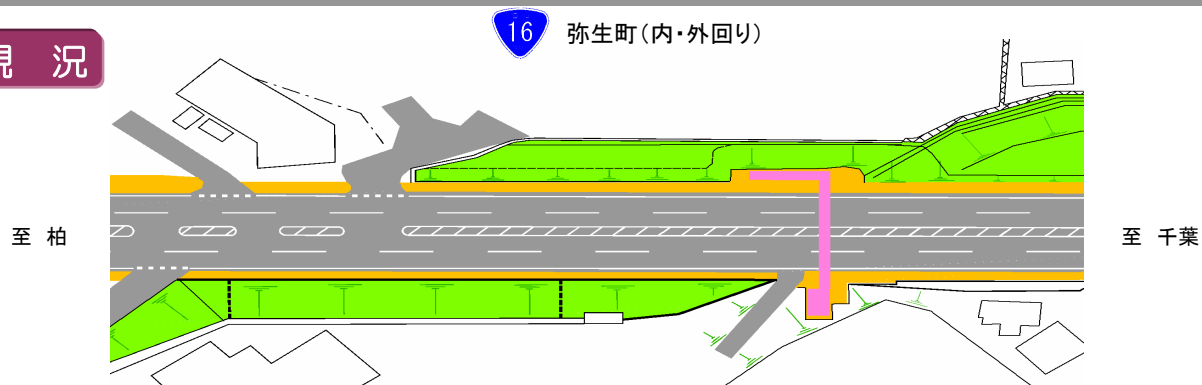
バスベイ設置

国道16号における短期的な渋滞対策として、バス停でのバス停車により交通が阻害される状況を軽減するため、バスベイを設置します。

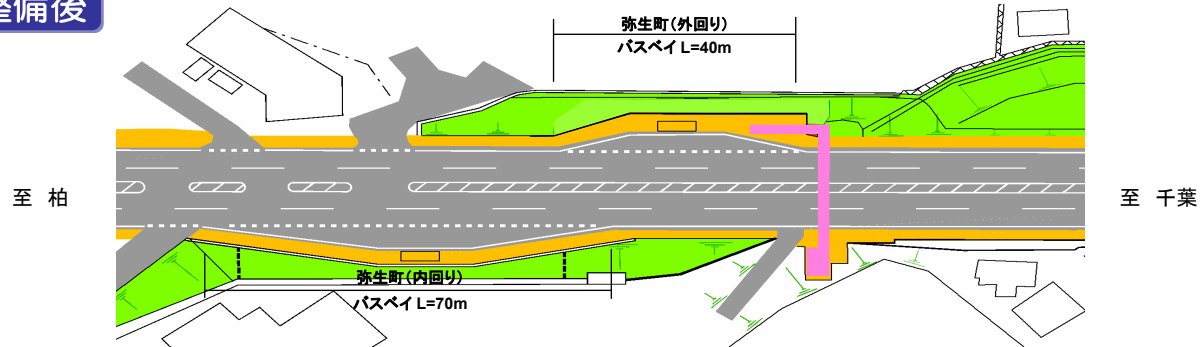
8月下旬(8/20)から弥生町(外回り)に着手し、順次、葉山(外回り)、弥生町(内回り)を整備します。

■バスベイ設置の整備イメージ

現 況



整備後



■バスベイ整備箇所

バス停		下り(埼玉方面、内回り)			下り(千葉方面、外回り)		
		運行回数		バスベイ整備	運行回数		バスベイ整備
		1日	ピーク時 (1時間)		1日	ピーク時 (1時間)	
1	消防署前	76	8		4	2	
2	キャタピラ三菱	76	8		4	3	
3	香取台	76	8		4	3	
4	須賀	76	8	整備済	4	4	
5	呼塚交差点	76	9	整備済	—	—	—
6	葉山	59	6		181	16	今回着工
7	第五小学校前	174	18		168	15	H18整備済
8	弥生町	115	13	今回着工	108	10	今回着工
9	エリカ前	115	13	整備済	108	10	整備済
10	新中井	115	13		108	10	
11	大津ヶ丘一丁目	115	13	整備済	108	11	H18整備済

レッドゾーン戦略：柏駅西口交差点

柏駅西口交差点は、死傷事故率が335件/億台kmであり、レッドゾーンに該当します。

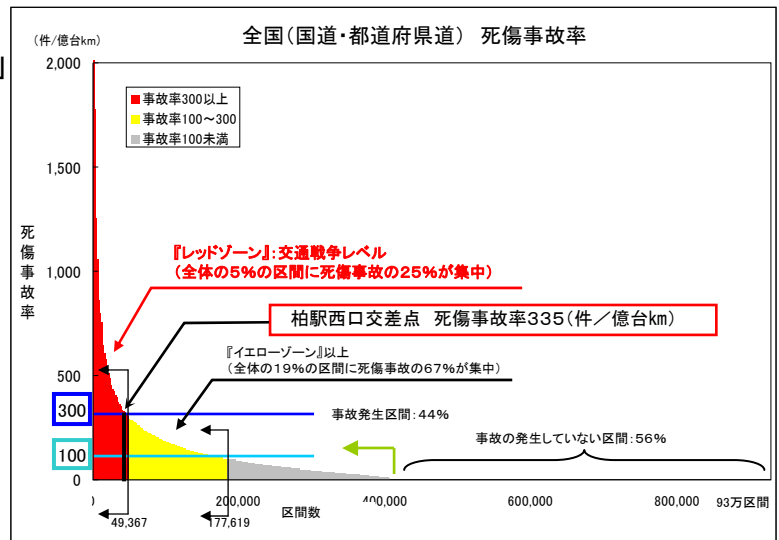
■レッドゾーンとは

危険な状態にある道路「レッドゾーン」

昭和45年の交通事故死傷者数は1万7千人で「**交通戦争**」という言葉が使われました。

この頃は、車が1億km走る間に平均で**約300件の事故**が発生していたことになります。

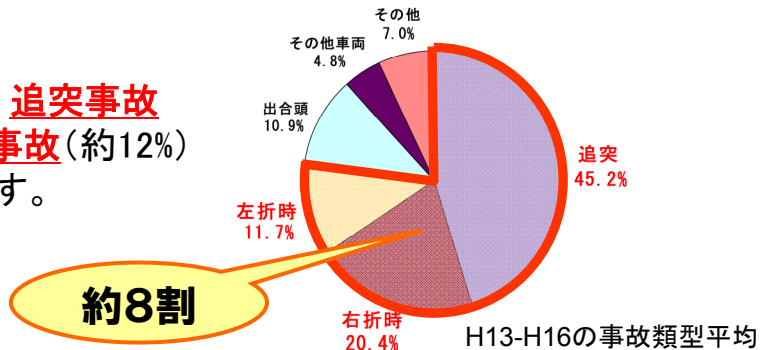
現在も、交通戦争の頃のように300件を超える区間(レッドゾーン)が全国の国道や都道府県道に5%存在し、そのわずか5%の区間に死傷事故の25%が集中しています。



■事故状況と対策内容

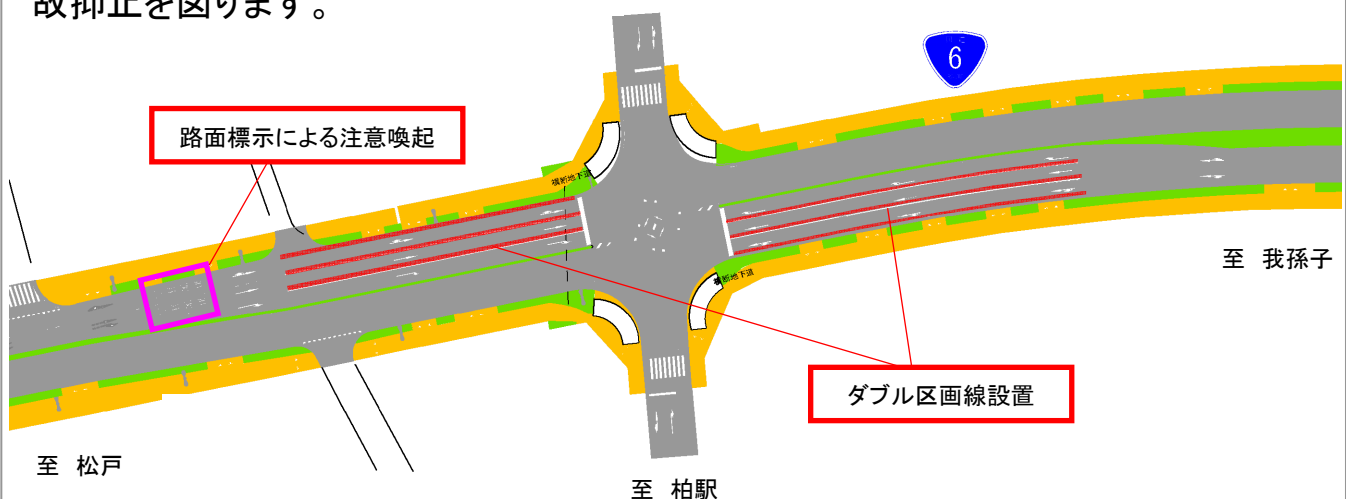
【事故状況】

柏駅西口交差点の事故状況は、**追突事故**(約45%)・**右折事故**(約20%)・**左折事故**(約12%)で交通事故の**約8割**を占めています。



【対策内容】

「**ダブル区画線の設置**」、「**路面表示による注意喚起**」を促すことで追突・右左折事故抑止を図ります。

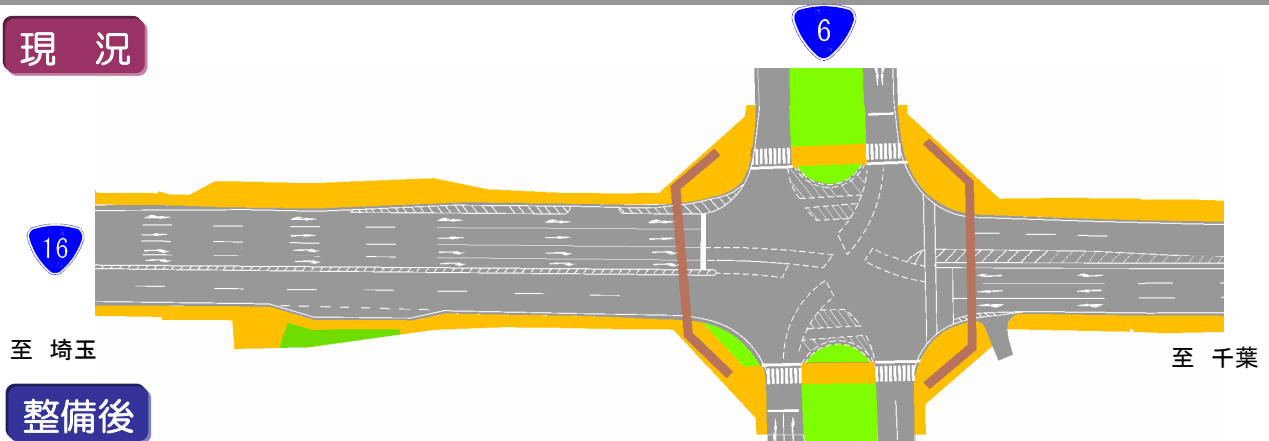


交差点改良：呼塚交差点

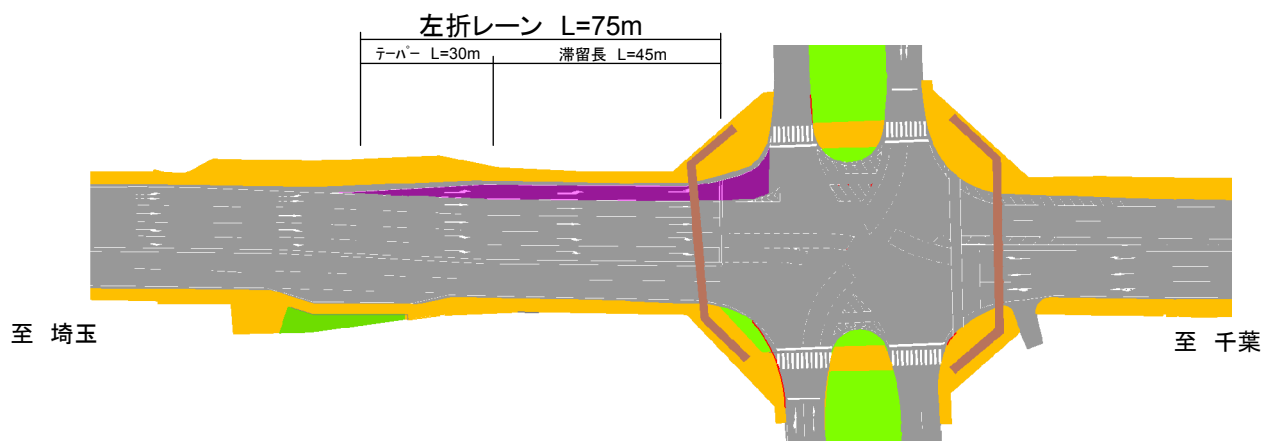
国道16号における短期的な渋滞対策として、『呼塚交差点』において、左折車による直進車への影響を軽減するため、左折専用車線の設置を11月上旬より着手します。

■左折レーンの設置イメージ

現況

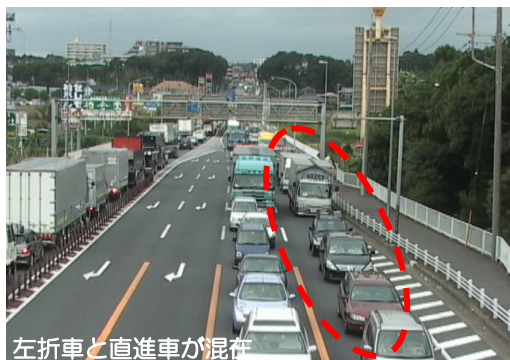


整備後



■現在の状況

■交通量（平日24h）→58,276台 ※H17交通センサス



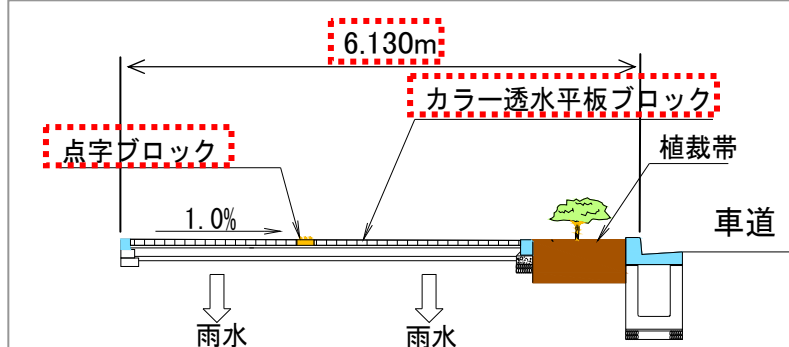
歩道のバリアフリー化

高齢者や身体障害者などを含め、誰もが安全で快適に利用できる歩行空間づくりを目指し、歩道幅の拡幅、平坦化などのバリアフリー化整備を9月上旬より旭町交差点～柏駅西口交差点間について着手します。

■整備内容

- ①歩道を広げます。
- ②雨天時にも水はけが良く、凸凹の少ない舗装にします。
- ③植樹帯を広げます。
- ④視覚障害者誘導用ブロックを設置します。
- ⑤横断歩道箇所など歩道と車道の接する部分や、車いす使用者やベビーカー利用者をはじめとする歩行者が、スムーズに通行できるよう、段差や勾配の少ない構造へ改修します。

■バリアフリー化整備イメージ



電線の地中化

電線共同溝(CC-BOX)は、道路地下空間を活用して電線類(電気、電話、通信等)を収納する施設です。電線を地中化することにより、電柱が無くなり良好な都市景観が造られます。国道16号・6号において順次施工中です。

■電線の地中化整備イメージ



事業説明看板の設置

「この工事は何の目的で、何を改善するのか」「いつ完成するのか」を伝えるため、わかりやすい事業説明看板の改善に取り組んでいます。
「柏地区道路見える化計画」も新たな事業説明看板を設置しています。

■看板の設置



■①バスベイ設置(弥生地区)－事業説明看板



■②呼塚交差点－事業説明看板